2019.6.12 発行

かみきた山歩記（さんぽき） -010

河合～辻堂山

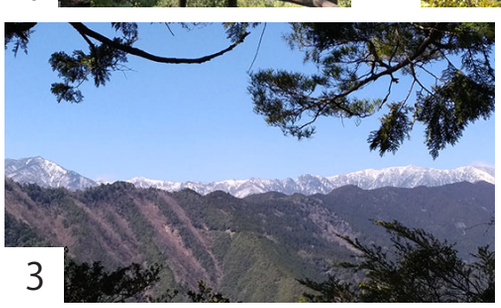
（1308.9ｍ）

雪をまとった大普賢岳。下田の集落付近の植林伐採地上部からの眺め。

ずっと気になっていた尾根の一つ、河合から辻堂山を結ぶ稜線を歩いた。辻堂山からは、林道奥玉線に向かって下る。河合まで帰るのに、アスファルトの国道をひたすら延々と歩くのはちょっと退屈なので、ゴール地点に自転車を置いておき、下山後は自転車でシューっと帰れるように準備しておいた。現在休業中ホテルの裏にある「カモシカ園」がスタート地点。ホテルの裏山を周回できるコースがあり、途中に展望台などもあるが、今は整備されていないので、雑木が大きくなって展望が狭くなっているのがちょっと残念。周回コースから逸れて、ひたすらに尾根沿いに上がっていくと、小橡の集落を俯瞰できるところに出た。進行方向の右手は、かなり切り立った岩壁なので通過するのに要注意。尾根上に防鹿柵があり、通行しにくいところもあるがぼちぼちと高度を上げていく。林道辻堂線と合流する少し手前に、存在感たっぷりの大木があり、その足元にはお地蔵様の祠と石の道標があった。「右　にしの村　左　川合」と書いてあったので、おそらく川上村方面から来る人のための道標であろう。このような道標があるということは、昔からこの尾根は人々が往来していたと考えてもおかしくないということである。ここから先は、尾根沿いに林道辻堂線が通っているけど、尾根の道は割と明瞭で歩きやすいし、大峯がよく見えるいいルート。辻堂山付近は、自然林で雰囲気の良いルートなので、林道を使って車で配送するなどすれば、上北山村拠点の山歩きコースになるのではないかと思う。

1

2

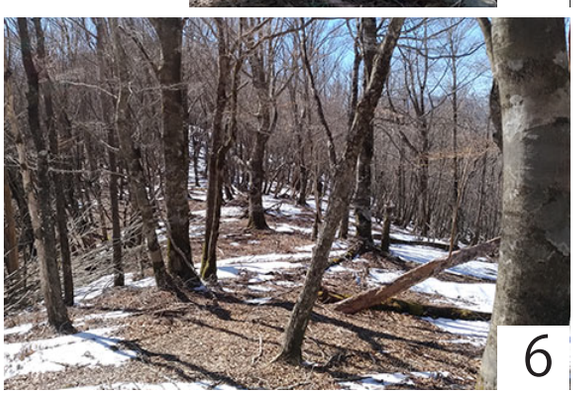

3

1：遊歩道の東屋からは河合の集落が見える
2：北山宮正面の岩壁の上から小橡の集落を眺める
3：大栂山の稜線の向こうに、雪をかぶった大峯

辻堂山から奥玉林道へ下るときに見えた大普賢岳
見る角度が変わると、同じ山でもいろんな形に見える

4：尾根を歩いていると、 結構しっかりとした木造の小屋があった。 入り口には「電源開発株式会社・西原水位観測局」と書いてあったが、なにの水位を観測していたんだろう？

5：道しるべの大木の脇には、 お地蔵様の祠と石で掘られた道標が。「右 にしの村 左 川合」と書かれていた



6：辻堂山のピークに向かう最後の上り。 このころはすっかり疲れており、亀より遅いノロノロ歩きであった。 7：辻堂山から作業道沿いに下っていく。 広々して気持ち良いところだが、 奥玉林道へ下る道が未知のエリアだったのでのんびりせず先を急いだ

【編集後記】

ぼちぼち梅雨に突入して、思うように山歩きできない日もあるけれど、上北山村での山歩きはどちらかというとルート探索が多いので、まぁ雨でも問題ない。ただ、ブトや蜂は嫌なので、何かいい対策知ってる方、ぜひ教えていただきたいです☆

行政便り　上北山村通信「山へ散歩いこう」
発　　行　地域おこし協力隊　小谷雅美
発　　刊　偶数月第二水曜日
連 絡 先　090-2064-4971

＊小谷雅美協力隊員の山行記録は、ブログでも読めます
「山へ散歩いこう」で検索してみてください☆